

## 市長定例記者会見の概要(令和3年第4回市議会定例会ほか)

11月24日、15:30～、201会議室

令和3年第4回市議会定例会(11月30日に召集)について概要説明を行いました。  
続いて下記項目を発表。

- 1 立川市コトリンク情報発信センターの運営に係る優先交渉権者の決定
- 2 立川市プレミアム婚姻届～婚姻届も思い出も「カタチ」にしようキャンペーン～
- 3 立川シアタープロジェクト 子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台Vol.5『ピノッキオの冒険』  
関連企画「子ども未来エンゲキ部」「あちこちシアター」について
- 4 小・中学校における二酸化炭素濃度測定器の導入について
- 5 立川シティハーフマラソン2022の開催について



# 定例記者会見発表資料

資料 2

令和 3 年 11 月 24 日 (水)

立川市総合政策部広報課

<p><b>発表項目</b></p>	<p>立川市プレミアム婚姻届 ～婚姻届も思い出も「カタチ」にしようキャンペーン～</p>
<p><b>【概要】</b></p> <p>本市は、カップル応援支援キャンペーンとして、コロナ禍により結婚式を延期・中止するなどの影響があったカップルを対象に、抽選で SORANO HOTEL 宿泊券などが当たる取組を実施し、コロナ禍での結婚の思い出作りをお手伝いします。</p> <hr/> <p>①抽選で 2 組に SORANO HOTEL 宿泊券プレゼント (12/1～先着 70 組に抽選券配布)          ②プレミアム婚姻届制作会社オリジナルグッズプレゼント (12/1～先着 70 組に配付)          ③抽選で 10 組にファーマーズセンターみのーれ立川がおすすめる立川市内をはじめとした地場産野菜と加工品の詰め合わせプレゼント (12/1～先着 70 組に抽選券配布)</p> <hr/>	
<p><b>&lt;対象&gt;</b></p> <p>①～③ 12/1 以降にプレミアム婚姻届を立川市に提出し、市役所本庁舎内記念写真撮影コーナーで写真撮影を行ったカップル(コロナ禍で結婚式の中止・延期などの影響(精神的な影響も含み、自己申告制)を受けた方)</p>	
<p><b>【PRポイント】</b></p> <p>立川市プレミアム婚姻届は、本市のオリジナル婚姻届として平成 28 年に販売を開始し、写真を飾ったり筆跡を残せる機能性や、シンプルで明るく高級感のあるデザイン、また地元商店街等と連携した特典提供などが高く評価され、「ふるさと名品オブザ・イヤー地方創生大賞」や「2019 年度グッドデザイン賞」を受賞しています。</p> <p>今般、コロナ禍で結婚式を挙げられない、両家顔合わせができないなど、辛い思いをされているカップルが数多くいる中で、立川市は地域を挙げて結婚の思い出作りをお手伝いします。</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：予定なし</p>	
<p><b>添付資料</b></p>	<p style="text-align: center;">(有) 無</p>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>総合政策部 企画政策課長 浅見 知明 電話：523-2111 (内線) 2158</p>

## 定例記者会見発表資料

資料 3

令和3年11月24日(水)

立川市総合政策部広報課

<p><b>発表項目</b></p>	<p>立川シアタープロジェクト 子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台 vol. 5『ピノッキオの冒険』 関連企画「子ども未来エンゲキ部」「あちこちシアター」について</p>
<p><b>【概要】</b></p> <p>2016年よりはじまった、立川市、立川市地域文化振興財団、たちかわ創造舎（企画・運営：NPO法人アートネットワーク・ジャパン）による「立川シアタープロジェクト」は、立川市内での質の高い演劇作品・演劇空間の創造と発信、世界にはばたく人材の育成を目指した活動を行っています。</p> <p>この立川シアタープロジェクトによる主催公演「子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台」は、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年は中止となりましたが、今年はイタリア児童文学の傑作『ピノッキオの冒険』を上演します。5作目となる本公演では、会場を小ホールに移し、感染予防対策を徹底しつつも、アットホームな雰囲気の中で演劇を楽しめる環境でお届けします。また、次の2つの関連企画はコロナ禍でも継続しており、年間を通して市民の方々に演劇、劇場に親しむ機会を提供しています。</p> <p>一つ目の関連企画「あちこちシアター」は、たましん RISURU ホールの様々な場所を劇場に変え、上演時間30分の気軽に楽しめるお芝居やダンスパフォーマンスを上演し、ファミリー層を中心に幅広い年齢層の方々に楽しんでいただいています。これまで11作品を上演しました。</p> <p>二つ目の関連企画「子ども未来エンゲキ部」は、観るだけでなく演じてみたいというお子さんの声に応えるべく、小学校中学年から中学生を対象に、演劇に関わるワークショップを開催しています。今年度は初の試みとして、舞台美術の役割を学びながら、『ピノッキオの冒険』で実際に使われる舞台美術をつくるワークショップを、12月4、5日に開催します。</p> <p><b>【事業費（案）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別添予算書の通り</li> </ul> <p><b>【開催日時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●『ピノッキオの冒険』開催日時 2021年12月24日(金)15:00開演, 25日(土)11:00/15:00開演, 26日(日)11:00/15:00開演 全5回公演、上演時間約60分</li> <li>●「子ども未来エンゲキ部・舞台美術ワークショップ」開催日程 2021年12月4日(土)14:00, 5日(日)11:00/14:00 ※2022年2月にダンスワークショップを開催予定</li> </ul>	



●「あちこちシアター」

今年度は、7月23日にvol.10 ダンスパフォーマンス『ユカイな妖怪大作戦!』、11月21日にvol.11 お芝居『大きな周一』を上演しました。

※vol.12は「子ども未来エンゲキ部」運動企画として、2022年2月に成果発表会を開催予定

**【PRポイント】**

- ・年間を通して継続的に演劇、劇場に親しむ機会を創出することで、都心に赴かずとも上質な文化体験が可能となり、立川市はもちろん、多摩エリア全体の文化向上へとつなげることができる。
- ・多摩地域の交通の中心である立川にある、たましんRISURUホール、子ども未来センターを拠点とすることで、他の多摩エリアの住民もアクセスしやすく、多くの人々の参加・交流が期待でき、立川市の活性化にもつなげることができる。
- ・たちかわ創造舎を拠点に活動するアーティストが中心となって創作するため、地域住民から親しまれている俳優が多く出演しており、地域に根差した舞台作品となっている。
- ・いずれの企画も入場料、参加費を低価格に設定していることから、若い世帯にとって、立川市が文化・芸術に親しみやすい、住みやすい環境であることを知ってもらう機会も担っている。

※今議会で関係する議案・報告委員会：無

添付資料	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
問い合わせ先	立川シアタープロジェクト実行委員会（たちかわ創造舎） 電話：042 - 595 - 6347  産業文化スポーツ部 地域文化課長 比留間 幸広 電話：523 - 2111（内線）4500

## 定例記者会見発表資料

資料 4

令和3年11月24日(水)  
立川市総合政策部広報課

<b>発表項目</b>	小・中学校における二酸化炭素濃度測定器の導入について
<b>【概要】</b>	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、室内のCO2濃度の見える化により、適切な換気が実施できるように、市内小・中学校の教室に二酸化炭素濃度測定器を導入します。</p>
<b>【事業費】</b>	<p>令和3年度第7号補正予算に計上済み 学校環境衛生管理用二酸化炭素濃度測定器予算 16,500千円 契約金額 5,258千円(1台あたり5,258円)</p>
<b>【導入機種】</b>	<p>CO2Manager コンパクトCO2濃度測定器 TOA-CO2MG-001 製造販売元 株式会社東亜産業 製品サイズ：約136×78×86mm、質量：約220g</p>
<b>【納品予定日】</b>	<p>令和3年12月10日(金)</p>
<b>【PRポイント】</b>	<p>市立小・中学校の普通教室、特別教室、職員室、保健室及び事務室等について、1校あたり平均で35個(学校規模により異なる)合計1,000個を配置します。 コンパクトな卓上タイプで各教室等に設置しやすく、CO2濃度は数字、色とアラームにより確認できるため、教室内の換気が十分に行われているかどうかを確認して、適切なタイミングに窓を大きく開けるなど、速やかな対応が図れます。また、温度と湿度も分かります。</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：文教委員会</p>
<b>添付資料</b>	<p style="text-align: center;">(有) 無</p>
<b>問い合わせ先</b>	<p>教育部 学務課長 杉浦 丘美 電話：523-2111(内線)2136</p>

## 定例記者会見発表資料

資料 5

令和3年11月24日(水)  
立川市総合政策部広報課

発表項目	立川シティハーフマラソン 2022 の開催について
	<p><b>【概要】</b></p> <p>2020 大会、2021 大会と 2 年連続で開催を中止した、立川シティハーフマラソン 2022 を令和 4 年 3 月 13 日(日)に実施します。陸上自衛隊立川駐屯地の滑走路をスタートし、公道を經由し国営昭和記念公園内をフィニッシュとするハーフマラソンのほか、ファンランとして同公園内をコースに 3 kmの部と新たに設けます 10 kmの部、自衛隊駐屯地の滑走路をコースに約 1.3 kmの親子ペアの部を開催します。ハーフマラソンの参加者からはニューカレドニア・モービル国際マラソンや RUN as One-Tokyo Marathon 2023 への選手派遣も行います。</p> <p>また、大会 2 週間前の 2 月 27 日(日)にはプレイベントとして「立川シティハーフマラソン ONLINE」を開催します。ハーフマラソン、10 km、3 km、ウォーキング 5 kmの 4 種目で、スマートフォンアプリなどを使って走行データを送信することで、どこからでも立川シティハーフマラソンに参加することができる仕組みとなっています。同日夕方には参加者の送信したデータなどの解説やトークショーを YouTube でライブ配信し大会をさらに盛り上げます。また SNS を利用して、推奨コースで紹介した場所など立川市内を題材としたフォトコンテストも開催し、3 月 13 日に向けた機運醸成を図ります。</p> <p><b>【事業費(案)】</b></p> <p>立川市負担金 9,500 千円</p> <p><b>【事業期間 or 開始時期】</b></p> <p>ハーフマラソン 令和 4 年 3 月 13 日(日) 9 時 25 分スタート オンラインイベント 令和 4 年 2 月 27 日(日) 午前 4 時～午後 6 時</p> <p><b>【PRポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ファンランに国営昭和記念公園内を走る 10 kmの部を新設</li><li>・オンラインイベント「立川シティハーフマラソン ONLINE」を開催</li><li>・箱根駅伝を走った選手も出場する第 25 回日本学生ハーフマラソン選手権大会及び</li></ul>



パラアスリートが出場する立川シティ車いすハーフマラソンを併催

- ・ニューカレドニア・モービル国際マラソン姉妹提携
- ・RUN as One-Tokyo Marathon 2023 提携大会

※今議会で関係する議案・報告委員会：厚生産業委員会にて報告

添付資料	有	無
問い合わせ先	産業文化スポーツ部スポーツ振興課長 中村 達也 電話：523-2111（内線）4410	